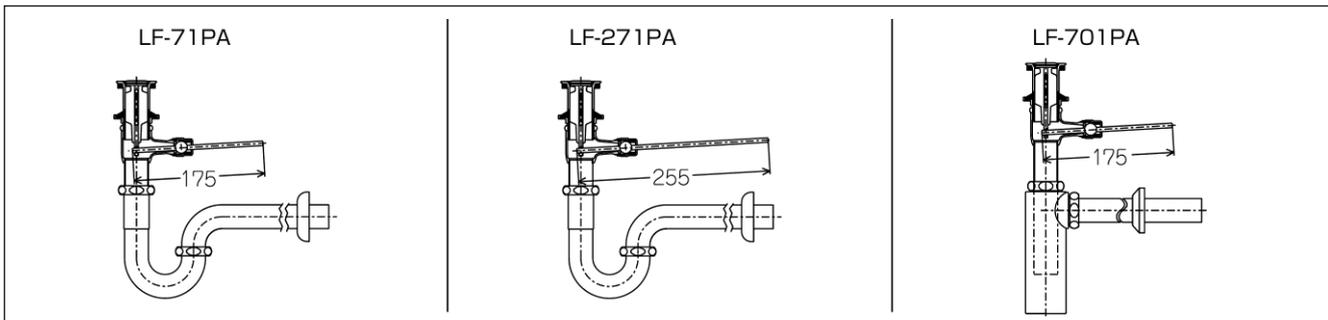


ポップアップ式排水金具

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この説明書をお客さまにお渡しください。

商品図

本商品にウエスト棒は同梱していません、水栓金具に同梱しております。



洗面器排水金具の取付け

(1) 排水金具の締付け

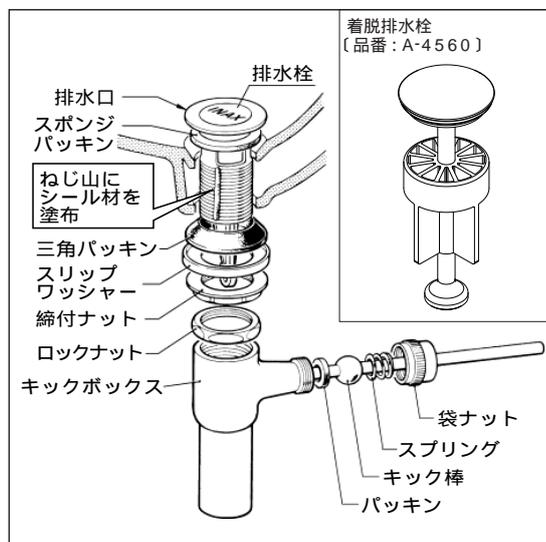
- 排水口のツバ下パッキンには、スポンジパッキンが使用してあります。しかし、ねじ山をつたって漏水することが考えられますので、図のようにシールしてください。上部にスポンジパッキン、下部に三角パッキンをはめて締め付けてください。この際、締めすぎにならないよう注意してください。

排水金具が変形し漏水の原因になります。

- 排水栓が「閉」状態の時にキック棒が水平に差し込まれるまで、キックボックスをねじ込み、ロックナットでキックボックスをしっかりと固定してください。

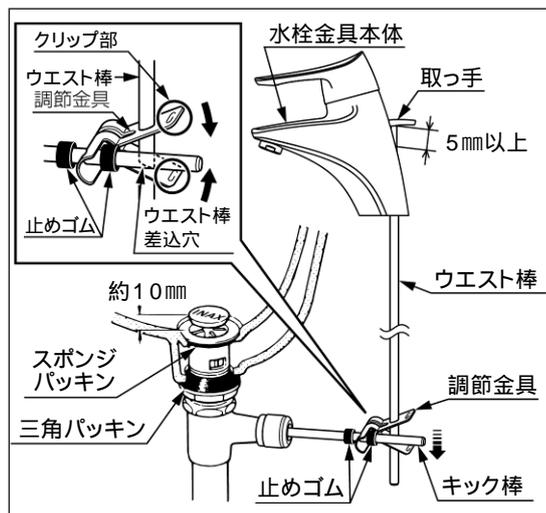
排水栓の社名表示が手前に向くように取り付けてください。
排水栓は、取り外して清掃可能な着脱排水栓があります。

- キック棒の袋ナットを漏水しない程度に締め付けてください。この際、締めすぎにならないよう注意してください。
キック棒の動きが重くなります。

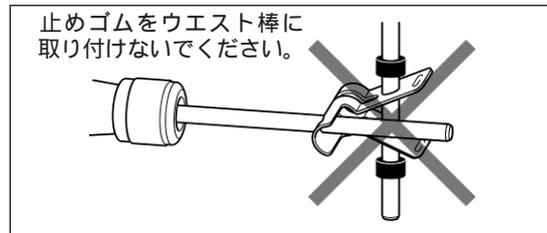


(2) ウエスト棒の取付けおよび調節

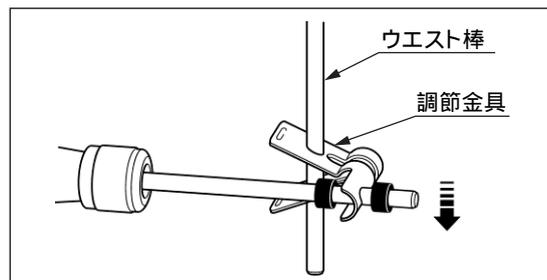
- キック棒に止めゴムと調節金具を図のように組付けてください。
- ウエスト棒を水栓金具本体に通し、さらに調節金具のクリップ部を摘みながらウエスト棒差込穴に通してください。
- 排水栓の開閉(約10mm程度上下します。)が行えるように、調節金具のクリップ部を摘みながらウエスト棒の高さを調節してください。このとき、取っ手と水栓金具本体とがぶつからないように、5mm以上の隙間をあけてください。
- 排水栓の開閉が円滑に行えることを確認したら、止めゴムで調節金具が動かないように挟んでください。
(止めゴムの間隔は10mm以内)
調節金具に干渉しないように、水栓金具の給水ホースを取り回してください。破損して漏水する恐れがあります。



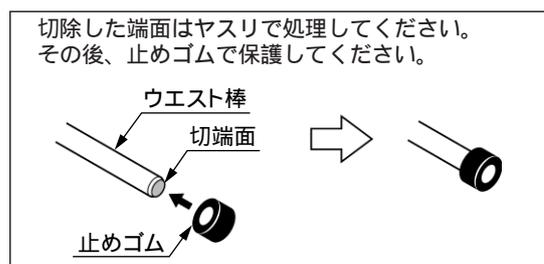
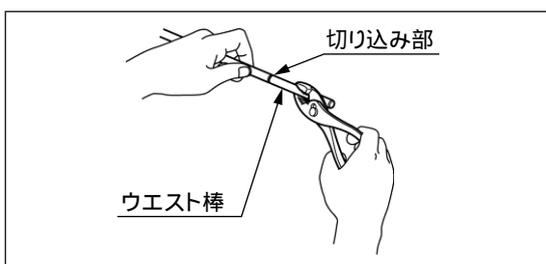
止めゴムを付けない場合は、調節金具がキック棒より外れ正しく作動しない恐れがあります。



水栓金具によりウエスト棒が斜めに挿通される場合や、ウエスト棒の操作が重い場合は、調節金具の向きを右図のように反対にして取り付けてください。



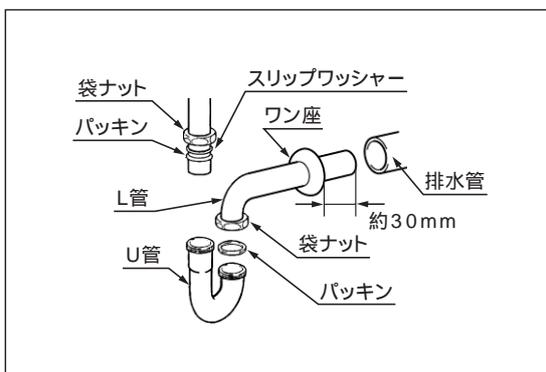
ウエスト棒が長すぎて排水管等に干渉する場合は、下端にある切り込みより、プライヤー等を用いて切除してください。



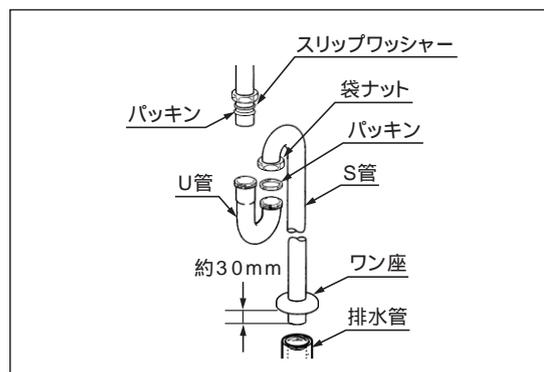
排水管の接続

排水トラップを仮付けして、L管またはS管を排水管との差込みし約30mm残して切断してください。

[Pトラップの場合]



[Sトラップの場合]



[排水ボトルトラップの場合]

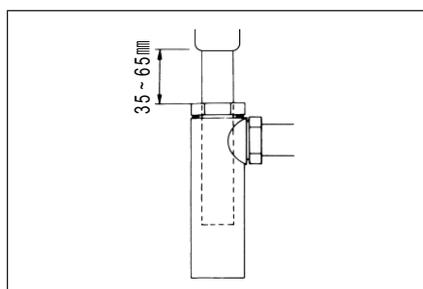
排水管の接続を行ってください。

差込みし約30mmを残して切断してください。

トラップ直管は、絶対に切らないでください。

右図の寸法は35～65mmになっていることを必ず確認してください。

[ボトルトラップ封水深の確認]



[ボトルトラップの取付け]

